



金属資源情報

平成 29 年 1 月 11 日 No.17-01

ニュース・フラッシュ

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 調査部

ニュース・フラッシュは、インターネットでも御覧になれます。記事検索も行えます。

<http://mric.jogmec.go.jp/>

[中南米]

- ペルー：政府、五鉱傘下 Las Bambas 銅鉱山に対し新しい環境計画書の提出を要求
- ペルー：Yanacocha 鉱山の閉山計画
- ペルー：MARSA 社、Satata Icuero 金プロジェクトのボーリング調査に向けて DIA 提出
- ペルー：Las Bambas 鉱山地元へ社会投資
- ペルー：Strike Resources 社、Zhongrong Xinda グループに鉄鉱石プロジェクトを売却
- ペルー：Inca Minerals 社、Riqueza 亜鉛・銀・鉛プロジェクトで 2 つの鉱床発見を報告
- ペルー：Eloro Resources 社、La Victoria 銅金銀プロジェクトの探査報告
- ペルー：Nyrstar 社、Glencore に Cotonga 鉱山を売却
- ペルー：Trevalli Mining 社、Santander 鉱山の探鉱成果を報告
- ペルー：Montan Mining 社、Rey Salomon 金鉱山を買収
- ペルー：Pallancata 銀鉱山、道路封鎖により生産停止
- ペルー：SENACE、2017 年に新規 EIA 導入の見通し
- ペルー：Toquepala 鉱山拡張プロジェクトは進捗率 45%
- ペルー：Zafranal 銅プロジェクト、ボーリング調査のための DIA 提出
- ペルー：La Oroya 精錬所と Cobriza 銅鉱山の査定額 211 百万 US\$ 提案
- ペルー：政府と Milpo 社、Magistral 銅プロジェクト譲渡契約書に署名
- ペルー：Newmont 社、Yanacocha 鉱山マインライフ延長につき楽観視
- ペルー：2016 年 11 月の国内社会争議、12 ヶ月振りの水準に増加
- ペルー：PPX Mining 社、Igor 金、銀プロジェクトの坑道探鉱状況を報告
- ペルー：Nyrstar 社、Coricancha 鉱山を Great Panther Silver 社に売却
- ペルー：政府、2021 年の鉱業投資額は 7,000 百万 US\$ を見込む
- ペルー：Bayóvar リン鉱石鉱山の Vale 社権益を Mosaic 社が買収
- ペルー：Volcan 社、Palma 多金属プロジェクトに期待
- ペルー：Fission 3.0 社、Macusani ウランプロジェクトでリチウム鉱化も確認
- ペルー：Tinka Resources 社、Pucarumi 地区で高品位亜鉛ゾーン発見
- ペルー：国会が鉱業プロジェクトの支障となっている行政手続きの簡素化を提案
- ペルー：Constancia 銅鉱山、2017 年に 121 百万 US\$ の開発投資を計画
- ペルー：Buenaventura 社、Mayra 金プロジェクトの探鉱に向け EIA 提出
- ペルー：Auryn Resources 社、2017 年にペルー国内で 15,000m のボーリング調査を計画
- ペルー：2016 年 1~10 月の鉱業投資額
- ボリビア：Orvana Minerals 社、金増産計画
- エクアドル：Fruta del Norte 金プロジェクト、鉱業契約に係る合意書調印
- エクアドル：Explorcobres 社の鉱山キャンプが襲撃される
- エクアドル：Lumina Gold 社、Gangrejos 金銅プロジェクト付近ほかの有望鉱区確保
- ニカラグア：加 Calibre Mining 社、Primavera 金銅プ

ロジェクトの探鉱結果を発表

- メキシコ：2016年10月の鉱業生産統計、前年同月を下回る
- メキシコ：加Agnico Eagle Mines社、Chipriotaプロジェクト権益取得
- メキシコ：加Endeavour Silver社、高品位の金・銀鉱脈を発見
- メキシコ：Scotiabank社、加Goldcorp社とのLos Filos 金鉱山、Camino Rojo 多金属プロジェクト売却交渉が進展
- メキシコ：Industrias Peñoles 社社長インタビュー、Zacatecas 州鉱業に苦言を呈する
- メキシコ：2016年第3四半期、高い金品位を記録した鉱山
- メキシコ：加Blackrock Gold社、Portrero 金・銀プロジェクト権益を80%に上昇させる
- メキシコ：環境天然資源省（SEMARNAT）、米Argonaut Gold社 San Antonio 金プロジェクトの環境影響評価書を承認せず
- メキシコ：経済省・鉱山次官ポストが新設される
- ドミニカ共和国：加Precipitate Gold社、Juan de Herrera 金プロジェクト権益取得

[北米]

- 米：Vale、肥料部門を米Mosaic社に売却、同社の最大株主に
- 加：Integra Gold社、金探鉱プロジェクト等に7mC\$の資金調達
- 加：加連邦政府、アスベストを全面禁止へ
- 加：Richmont Mines社、Island 金鉱山の増産に関する環境認可を取得

[欧州・CIS]

- 英：LME、2017年の新料金体系を発表

[アフリカ]

- 南ア：Sibanye Gold社、米Stillwater Mining社を買

収することで合意

- DR コンゴ：政府、洛陽モリブデン業によるTenke Fungurume 銅鉱山の26.5億US\$買収案を承認

[オセアニア]

- 豪：資源産業における求人数、資源価格の回復により半年で20%増加
- 豪：ジュニア探鉱企業、資源価格の回復で探鉱への支出を増加
- 豪：OZ Minerals社、SA州Carrapateena 銅金鉱床の資源量が増加
- 豪：Independence Group社、WA州Nova ニッケル・銅・コバルト鉱山のニッケル精鉱を初出荷
- 豪：Pilbara Minerals社、Pilgangoora 先住民と土地利用に関する契約を締結
- 豪：Galaxy Resources社、Mt Cattlin 鉱山リチウム精鉱の2017年販売価格について合意
- 豪：中鋼国際、豪・Northern Minerals社と重希土中間実験工場建設工事の請負契約を締結

[アジア]

- インドネシア：政府、低品位ニッケル鉱石の購入義務化を計画
- インドネシア：政府、ニッケル鉱石及びボーキサイト輸出再開の政令を準備か
- タイ：Chatree 金鉱山が2016年12月末で閉鎖予定
- マレーシア：ボーキサイト採掘モラトリアムをさらに3か月延長
- 中国：レアアースの国家備蓄実施により業界内の供給過剰問題を緩和か
- 中国：廈門タングステン業、日本アライドマテリアル社が保有する成都聯虹モリブデン業の権益21%を買収
- 中国：中国政府は、鉄鋼、電解アルミニウム等生産過剰産業による新規増加生産能力への登録を禁止
- 中国：江西銅業、鵬欣資源と戦略的協力協定を締結
- 中国：金冠銅業、2017年2月末より45日間の設備点検作業を開始

ペルー：政府、五鉱傘下 Las Bambas 銅鉱山に対し新しい環境計画書の提出を要求

安泰科によれば、ペルー政府は、五鉱資源傘下にある Las Bambas 銅鉱山に関する環境計画書の再提出を求めている。現地マスコミは、当該鉱山が整った環境アセスメント報告書を作成する期間も鉱山経営に対する影響はないと報道した。これは、新政府が、現地住民からの抗議を受けた後、

当該プロジェクトの信頼性を取り戻すための新しい措置である。10月の抗議活動の後、一時的に当該鉱山の輸出は停止された。当該鉱山は世界最大級の銅鉱山である。

これまで、政府機関は、当該鉱山の環境保護計画を承認していた。当該計画では、以前提案したパイプによる輸送の代わりにトラックによる港への精鉱輸出が認められている。最近数か月、近くの住民による抗議活動が続いているが、これは2回目の計画改定案で意見を求めている、数百台の大型車両が住居近くの舗装していない道路を利用することで、騒音または粉塵による被害を受けているためである。

発表されたデータによると、Las Bambas 銅鉱山の8月の生産量は3.5万t（金属量）で、ペルー国内銅総生産の1/5を占めている。当該鉱山は、最初の5年間で年間40万tの銅精鉱（金属量）を産出することができる。

（2016年12月14日 北京 森永正裕）

ペルー：Yanacocha 鉱山の閉山計画

2016年12月14日付け地元紙によると、ペルー最大の金鉱山であるYanacocha 鉱山を、Newmont Mining 社（本社デンバー）とのJVで操業するBuenaventura 社（本社リマ、権益43.65%）は、同鉱山の閉山計画について、更新作業中であることを明らかにした。

更新される新しい閉山計画（5年間）では、水処理、解体工事、土木工事などのコスト高騰により、2016年第4四半期に計上する資産除去債務（Obligación de Retiro de Activos、ARO）を、当初の400百万US\$から500百万US\$に増加させることに、両社は合意した模様。この増加は両社の損益に60～90百万US\$の影響（Buenaventura 社分では25～40百万US\$の影響）を与えるだろうとBuenaventura 社は述べている。現在の採掘量が続けば、同鉱山は5～6年で鉱量が枯渇するものとみられている。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：MARSA 社、Satata Icuro 金プロジェクトのボーリング調査に向けてDIA提出

2016年12月14日付け地元紙によると、Minera Aurífera Retamas S. A.（MARSA）社（本社ペルー）は、Satata Icuro 金プロジェクト（La Libertad 州）のボーリング調査に向けて、DIA（環境影響評価書）を提出した。同社は、鉱床規模を精査し、深部方向の地質・鉱化状況を把握するため、13地点から計36孔延べ9,340mのボーリング調査を実施すると述べている。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Las Bambas 鉱山地元へ社会投資

2016年12月14日付け地元紙によると、Las Bambas 鉱山（Apurímac 州）地元のCotabambas 郡開発計画に、今後5年間で2,055百万ソール（約604百万US\$）が割り当てられることになった。

Martín Vizcarra 第一副大統領は、合計158の社会プロジェクトに対し、国、州政府、自治体および同鉱山を操業するMMG 社（本社メルボルン）が負担すると述べた。また、同第一副大統領は、この開発計画は省庁横断的に決定され、郡内6地区等の住宅、水、教育、健康、商業、交通、農業、通信などについて、量的にも質的にも改善させる社会プログラムであると述べた。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Strike Resources 社、Zhongrong Xinda グループに鉄鉱石プロジェクトを売却

2016年12月14日、Strike Resources 社（本社豪州パース）は、Zhongrong Xinda 集団有限公司（本社中国青島）グループに、Apurímac 州と Cusco 州に所有している鉄鉱石プロジェクトを、10 百万 US\$ で売却することを明らかにした。最終的な売却契約内容は、2017 年 4 月を期限とするデューデリジェンス次第とされている。

Apurímac 州のプロジェクトは、面積 7,500ha で、鉄鉱石資源量 269 百万 t。これまでの調査結果からは、CAPEX 投資 2,600~2,900 百万 US\$ で、年産 20 百万 t の操業が提案されている。Cusco 州のプロジェクトは、面積 3,000ha で、予備的な予測鉱物資源量 104 百万 t（鉄品位 32.6%）と見積もられている。

Zhongrong グループは、エネルギー・冶金・物流事業を手掛ける産業コンソーシアムで、ペルーにおいてはすでに Pampa de Pongo 鉄鉱石プロジェクト（Arequipa 州）を展開している。

（2016 年 12 月 16 日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Inca Minerals 社、Riqueza 亜鉛・銀・鉛プロジェクトで 2 つの鉱床発見を報告

2016 年 12 月 14 日、Inca Minerals 社（本社豪州）が、Riqueza 亜鉛・銀・鉛プロジェクト（Huancavelica 州）で 2 つの鉱床発見を報告した。

ひとつは Huamaspunco-Pinta 鉱床で、Zn-Ag-Pb 交代鉱床。もうひとつは Ushpanga 鉱床で、エピサーマル型 Zn-Ag-Pb-Au-Cu 鉱脈鉱床。同プロジェクトの探査開始から 8 ヶ月が経過し、これまでにマッピングが 4 km² にわたり実施されている。同社は、ボーリング調査にとりかかる計画を持っており、政府による EIA 承認に向けての第一段階となる国家水利庁（Autoridad Nacional del Agua）からの水利に関する承認を受けたことを明らかにした。

（2016 年 12 月 16 日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Eloro Resources 社、La Victoria 銅金銀プロジェクトの探査報告

2016 年 12 月 14 日、Eloro Resources 社（本社トロント）は、La Victoria 銅金銀プロジェクト（Ancash 州）の San Markito-Victoria エリアにおける探査第 2 フェーズであるマッピングとサンプリングの結果を報告した。

サンプリング結果のうち、幅 0.5m で Au 2.4g/t と Ag 86.1g/t を含む、幅 0.5m で最高 Au 8.9g/t の分析値が特筆される。同社の Bill Pearson チーフテクニカルコンサルタントは、同プロジェクト北部に複数の鉱化時期を持つ大きなエピサーマル鉱化作用の存在を確認したと述べている。

（2016 年 12 月 16 日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Nyrstar 社、Glencore に Cotonga 鉱山を売却

2016 年 12 月 14 日、Nyrstar 社（本社スイス）は、ペルーの Cotonga 鉱山（Ancash 州）及びカナダ Quebec 州の複数鉱区を Glencore の子会社に対し、合計 26 百万 US\$ で売却することで合意したことを明らかにした。このうち、Cotonga 鉱山の売却額は 21 百万 US\$ にのぼる。正式な売却完了は 2017 年上半期となる見通しとなっている。

同鉱山は、2015 年に、亜鉛 12 千 t、鉛 900t、銀 481 千 oz（約 15t）を生産した。Nyrstar 社の進める、鉱山事業を処分し、金属加工に注力する計画の一環とみられる。同社は、ペルーに Coricancha 金鉱山（Lima 州）を保有しているが、採掘を中断している。

（2016 年 12 月 16 日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Trevali Mining 社、Santander 鉱山の探鉱成果を報告

2016年12月15日、Trevali Mining 社（本社バンクーバー）は、開発中の Santander 亜鉛・鉛・銀鉱山（Lima 州）において、高品位亜鉛・鉛・銀鉱床の規模がさらに広がりつつある探鉱成果を報告した。

同社プレスリリースによると、同鉱山坑内で実施中の 8 本のボーリング調査結果のうち、3.4m 間で Zn 11.5%、Pb 9.9%、Ag 14.8oz/t（約 460g/t）や 2.55m 間で、Zn 9.9%、Pb 10.7%、Ag 5.7oz/t（約 177g/t）が特筆されるという。Mark Cruise 同社 CEO は、Magistral Central 鉱体と Magistral North 鉱体が深部でつながることを確認し、現時点で確認されたこの塊状硫化物鉱体の規模は少なくとも 600m 以上あり、全方位に探鉱余地は残されていると述べた。同鉱山は現在年産 52 百万 lb（約 23.6 千 t）の亜鉛を生産している。同社では、2017 年に、粗鉱処理能力の拡張に乗り出すか否か決定する模様である。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Montan Mining 社、Rey Salomon 金鉱山を買収

2016年12月15日、Montan Mining 社（本社バンクーバー）は、Rey Salomon 金鉱山（Arequipa 州）を操業する Cerro Dorado SAC を買収することについて、Chazel Capital 社（本社ケベック州）と最終的に合意したと発表した。取引は 2017 年 1 月に完了する見込み。

同鉱山は、32 本の鉱脈が確認された 2 km の坑道と、100tpd にアップグレード可能な許可を持つ 60tpd の CIP プラントを持つ。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Pallancata 銀鉱山、道路封鎖により生産停止

2016年12月15日、Hochschild Mining 社（本社ロンドン、リマベース）は、Pallancata 銀鉱山（Ayacucho 州）の地元コミュニティの住民らが、土地の利用に対する補償に係る合意の見直しを求めて道路封鎖を実施しているため、一時的に生産を停止していることを明らかにした。

同社は、政府を仲介とした住民との協議を行っていることや、本生産停止による 2016 年の生産見通しへの影響は無いことを明らかにしている。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：SENACE、2017 年に新規 EIA 導入の見通し

2016年12月16日付け地元紙によると、環境影響評価（EIA）の審査業務の開始後まもなく 1 年を迎える持続的投資環境認証サービス局（SENACE）の Wieland 長官は、現在までの業務状況や今後の方針を明らかにした。

同長官によると、SENACE は、2016 年、規定の期間（7 か月間）内に 4 件の EIA を審査・承認し、現在、9 件の EIA を審査中であるほか、EIA の簡易修正書である技術根拠報告書（ITS）82 件の 57% が承認済、13% が審査中、30% が却下されたことを明らかにした。また、現在、EIA の完全デジタル化やボリューム（ページ数）の削減に取り組んでおり、2017 年には、新たな内容や TOR（Terms of Reference）、構成やチェックリスト等から成る新規 EIA を導入する見通しで、これに先立ち、数週間以内に新規 EIA に関するガイドラインを公表することを明らかにした。

その他、2017 年における活動計画として合計 32 件の EIA 及び EIA 修正書の承認のほか、農業、

住宅・建設セクターにおける EIA の審査を開始する見通しを明らかにした。さらに、技術根拠報告書 (ITS) については改善すべき点があるとし、既に環境省に対して、改善を目的とした提案を行った旨明らかにした。

(2016 年 12 月 16 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Toquepala 鉱山拡張プロジェクトは進捗率 45%

2016 年 11 月 25 日付け地元紙によると、Southern Copper 社 (本社米国) の Toquepala 鉱山 (Tacna 州) 拡張プロジェクトは、2015 年 11 月の開始以降現在まで、必要投資額 1,250 百万 US\$ のうち 750 百万 US\$ の投資を完了し、45% の進捗率となっている旨明らかにした。

同社の Eduardo Forcada Warren プロジェクト投資部長は、機器の購入のためにすでに予算の半分以上を消費したが、設置スペースの無い場所での特殊な設営作業が残っていると述べた。また、現在の選鉱プラントで使用されている用水量は 520ℓ/s であるが、新しいプラントでは、廃水からのリサイクル水を併用することで、現在の採水量を全く増やすことなく、生産量が倍増できるとし、新規選鉱プラント導入に伴う水利用量の増加申請は行わないことを明らかにした。

さらに、プロジェクト影響下地域の住民とは良好な関係を保っており、新規プラント導入により、工事期間中の直接雇用が 2,500 人、操業期間における直接雇用が 300 人以上、間接雇用を含めると 4,800 人の雇用が創出されると説明した。本プラントの操業開始は 2018 年第 2 四半期となる見通しである。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Zafranal 銅プロジェクト、ボーリング調査のための DIA 提出

2016 年 12 月 14 日付け地元紙によると、Zafranal 銅プロジェクト (Arequipa 州) を進める Compania Minera Zafranal 社 (Teck Resources 社 (本社トロント) 50%、AQM Copper 社 (本社バンクーバー) 30%、三菱マテリアル社 20% からなる同プロジェクトの現地オペレーター、Teck 社による AQM 社買収手続き中) は、ボーリング調査追加 72 孔のためのテクニカルサポート報告書 (TF) を当局に提出した。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：La Oroya 精錬所と Cobriza 銅鉱山の査定額 211 百万 US\$ 提案

2016 年 12 月 14 日付け地元紙によると、12 月 13 日に開催された清算手続き中の Doe Run Peru 社の債権者集会において、La Oroya 精錬所 (Junín 州) と Cobriza 銅鉱山 (Huancavelica 州) を合わせた査定額は 211 百万 US\$ であることが、国際的コンサルタント Price Waterhouse Cooper から報告された。内訳は、La Oroya 精錬所が 115 百万 US\$、Cobriza 銅鉱山が 56 百万 US\$ とされている (筆者注：その他は共通資産か)。

本査定額に関して、同社の債権者であるエネルギー鉱山省 (権益 34.14%) 代表者は受け入れを表明したものの、民間企業の債権者の中には、多数決に従うと表明した企業や、4 倍の査定額を要請する企業等、様々な見解が存在し、結果的に 12 月 16 日に本査定額の承認を行うか否かが決定されることになった。査定額の承認には、全債権者の 50% 超の同意が必要とされる。また、査定額は、国際入札のベース価格を決める際の基準となる。

2016 年 12 月 19 日付け地元紙によると、12 月 16 日に上記債権者集会が実施されたものの、211

百万 US\$の査定額について過半の賛同が得られず承認に至らなかったため、債権者集会は再度 2017 年 2 月 3 日に延期されることになった。一方、入札日は、2017 年 3 月 10 日と決定し、応札企業が無かった場合、予備の入札日として 3 月 20 日及び 27 日が指定された。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：政府と Milpo 社、Magistral 銅プロジェクト譲渡契約書に署名

2016 年 12 月 17 日、エネルギー鉱山省は、政府と Milpo 社(本社リマ)が、同社に対する Magistral 銅プロジェクト (Ancash 州) 譲渡契約を締結したと発表した。

政府側を代表する Activos Mineros 社と Milpo 社の間に取り交わされた契約書には、今後 36 ヶ月以内に鉱山建設が実施されるべきことが定められている。契約書署名への完了後、同社は地元 Conchucos コミュニティに対し、土地利用の対価として 10.15 百万ソール (約 3 百万 US\$) を支払った。本契約の締結について Tamayo エネルギー鉱山大臣は、24 ヶ月間停滞状況にあった本プロジェクト開発の実現は、新政権におけるエネルギー鉱山省や投資促進庁 (ProInversión) の努力の成果であると評価した。

一方 Shinno 鉱山副大臣は、同社に対する鉱業権譲渡は、同社や同プロジェクトに対する厳格な評価・審査を経て決定されたと説明したほか、同プロジェクト開発は、ペルーの銅生産や地域コミュニティに貢献するだろうとコメントした。既に投資促進庁 (Proinversion) に承認されている FS によれば、本プロジェクトには約 300 百万 US\$が投資され、粗鉱処理量は 10,000tpd で、マインライフ 25 年とされている。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Newmont 社、Yanacocha 鉱山マインライフ延長につき楽観視

2016 年 12 月 19 日付け地元紙によると、Newmont Mining 社 (本社米国デンバー) CEO の Goldberg 氏は、51.35%の権益を保有する Yanacocha 鉱山 (Cajamarca 州) について、現在探鉱中の Quecher Main 酸化鉱床や別の硫化鉱床開発プロジェクトによる 2025 年までのマインライフ延長に関し、楽観的な見通しを持っていると述べた。また同氏は、先週 Kuczynski 大統領と面談できたことに満足しているとし、面談を通じて今後のペルーへの投資継続について、より前向きな気持ちになったとコメントした。

2016 年 7 月の同氏の発言では、Quecher Main 鉱床の開発に関しては 2017 年に決定を行うこと、また、同時期に Yanacocha 鉱山内の別の金銅硫化鉱床における探鉱活動に向けたプレ FS を開始したこと、これらの鉱床については、2022 年以降生産に入る可能性があるが、開発を行うには投資回収率が少なくとも 15%を超える必要がある等述べていた。

一方、現在、同社は、JV パートナーの Buenaventura 社 (本社リマ、権益 43.65%) と、同鉱山の閉山計画書を更新中であり、これに伴い 2016 年第 4 四半期に、資産除去債務を、当初計画の 400 百万 US\$から 500 百万 US\$に増加させることにしている (12 月 20 日掲載「ペルー：Yanacocha 鉱山の閉山計画」参照)。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：2016 年 11 月の国内社会争議、12 ヶ月振りの水準に増加

2016 年 12 月 19 日、憲法に基づき設立された独立・自立的監査機関である オンブズマン (Defensoría

del Pueblo) 事務所は、2016年11月の国内社会争議状況を報告し、総件数は前月比1件増の213件となり、2015年11月の215件に近づく12ヶ月振りの水準に達したことを明らかにした。

総件数のうち、係争中の案件は前月比2件増の156件。新たに3件の争議が発生し、1件の争議が解決されたが、いずれも非鉱業部門であった。最大の争議原因は社会環境で、全体の70%の148件にのぼり、うち97件が鉱業部門に関連したものであった。また、地域別では、Apurímac州(25件)、Áncash州(23件)、Cusco州(19件)、Puno州(18件)などの高地地域が約4割を占めている。セクター別では、鉱業部門66%、炭化水素部門16%、エネルギー部門8%などとなっている。少なくとも81件の争議が対話過程にあり、そのうち72件にはオンブズマン事務所が間に入っている。

一方、デモなどの抗議行動は、前月比1件少ない102件で、Gerdau社 Siderperú製鉄所(Áncash州)での人員削減、Conсорcio Minero Horizonte社金鉱山(La Libertad州)の鉱害問題に対するものや、Shougang Hierro Perú社(Ica州)への給与増額要求、Hudbay Minerals社(Cusco州)への社会投資要求、Minera Aruntani社(Puno州)に係わる政府仲介による開発ラウンドテーブルの再開要求などがあつた。11月中には死亡者及び負傷者は報告されていない。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：PPX Mining社、Igor金、銀プロジェクトの坑道探鉱状況を報告

2016年12月19日、PPX Mining社(本社バンクーバー、旧Peruvian Precious Metals社)は、Igor金・銀プロジェクト(La Libertad州)のCallanquitasターゲットで試験的な坑内採掘を実施しているコントラクターProyectos La Patagonia社から報告書を受け取り、そのなかで示された坑内試料の分析結果が、資源量推定に使用されたボーリング調査結果より、脈幅及び品位ともに良好であったことを明らかにした。

同社プレスリリースによると、これまでのボーリング調査において、着鉱幅0.47m間で金品位7.17g/tであったところ、坑内チャンネルサンプリングでは、平均鉱脈幅1.1m(0.5~2.5m)、平均金品位13.13g/t(0.62~37.66g/t)であったという。今後同社では、2017年1月にかけて、採取した試料の選鉱試験を実施し、2017年第1四半期の本格生産開始を期待している。

SNL社データによると、同プロジェクトの2012年8月時点の鉱物資源量は約8,228千t、金品位約2.25g/t、銀品位約82.6g/tであった。また、Callanquitasターゲットの予測鉱物資源量は、PPX Mining社によると、カットオフ品位1.5g/t金相当とした場合、7,189千t、平均金品位1.94g/t(金量約13.9t)、平均銀品位71.8g/t(銀金属量約516t)だった。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Nyrstar社、Coricancha鉱山をGreat Panther Silver社に売却

2016年12月21日付け地元紙によると、Nyrstar社(本社ベルギー)は、Great Panther Silver社(本社カナダ)に対し、Coricancha鉱山(Lima州)を売却することで、同社と合意した旨発表した。

売却額は現金10万US\$プラス最高10百万US\$までのアーンアウト(earn-out)条項を含むとされている。アーンアウト(earn-out)条項では、同鉱山の累積フリーキャッシュフローがポジティブになった後の5年間、Nyrstar社が同鉱山のフリーキャッシュフローの15%を受け取ることを取り決めている模様。売却は2017年第1四半期に完了する見通し。

Great Panther Silver社は、現在操業を停止している同鉱山の生産再開に必要な54百万US\$をキャッシュで準備できているとしたほか、生産再開までには12~18か月が必要との見通しを示し

ている。同鉱山では年間 3 百万 oz (約 93t) の銀生産が見込まれるほか、金、鉛、亜鉛、銅等の鉱産物生産も期待できるという。なお Nyrstar 社は先週、Contonga 鉱山 (Ancash 州) を Glencore 社子会社に売却することを発表している (12 月 20 日掲載「ペルー : Nyrstar 社、Glencore に Contonga 鉱山を売却」参照)。同社はなお、ペルー国内に操業を中止している Pucarrajo 亜鉛鉱山 (Ancash 州) を所有している。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー : 政府、2021 年の鉱業投資額は 7,000 百万 US\$ を見込む

2016 年 12 月 21 日付け地元紙によると、12 月 15 日に開催された鉱業学会 (Instituto de Ingenieros de Minas del Perú) において、ペルーエネルギー鉱山省の Guillermo Shinno 鉱山副大臣が、同国の鉱業投資額は、2017 年に 3,000 百万 US\$ に落ち込んだ後、2021 年に 7,000 百万 US\$ まで回復するだろうと述べた。

計画されているプロジェクト全体の投資額は 46,411 百万 US\$ で、そのうち早期に実行確実なプロジェクトは、Southern Copper 社の Toquepala 銅鉱山拡張、Shougang 社の Marcona 鉄鉱石鉱山拡張、Chinalco 社の Toromocho 銅鉱山拡張、Minera Miski Mayo 社の Bayóvar リン鉱石鉱山拡張、Barrick Misquichilca 社の Lagunas Norte 金鉱山拡張など、合計 5,210 百万 US\$。次に実行が期待されるプロジェクトとして同副大臣は、投資額 5,000 百万 US\$ の Anglo American の Quellaveco 銅プロジェクト、2016 年末~2017 年始めにスタートする Shouxin 社の Marcona 鉄鉱石鉱山での廃さい回収プロジェクト、Buenaventura 社の Tambomayo 金プロジェクト、Tahoe 社の Shahuindo 金プロジェクトを挙げた。

さらに、2018 年までの立ち上がり、Minera IRL 社の Ollachea 金プロジェクト、Milpo 社の Pukaqaqa 銅・モリブデンと Magistral 銅の各プロジェクトに期待した。投資額 700 百万 US\$ を見込む Bear Creek 社の Corani 銀プロジェクト、APEC 会議とあわせてプロジェクト促進協定が調印され、鉱山だけでなく、港や工業団地などのいくつかの追加投資が期待される投資額 1,500 百万 US\$ 以上の Pampa de Pongo 鉄鉱石プロジェクト、Hochschild グループの Crespo 金銀プロジェクト、Cementos Pacasmayo 社のリン鉱石プロジェクトなども EIA 承認を受けた進展中のプロジェクトとして同副大臣は言及した。

一方、同副大臣は、重要でありながら、早期の実行は困難なプロジェクトとして、Tia María 銅プロジェクトと Minas Conga 金銅プロジェクトを取り上げた。今後の鉱産物生産の見通しについて、同副大臣は、銅については 2017 年に 270 万 t に達したあとしばらくこの水準が維持されるとした。また、2020 年までの傾向として、金と銀の生産量は微増 (金の 2017 年生産量予測 157.69t、銀の 2017 年生産量予測 4,475.8t)、亜鉛は微減 (2017 年生産量予測 120 万 t) で推移すると述べた。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー : Bayóvar リン鉱石鉱山の Vale 社権益を Mosaic 社が買収

2016 年 12 月 21 日付け地元紙によると、Mosaic 社 (本社英国プリマス) が Vale の肥料事業を買収したことにより、Vale が Bayóvar リン鉱石鉱山 (Piura 州) に保有していた 40% 権益が Mosaic 社に移り、あわせて 75% の権益を保有することになった。残り 25% の権益は引き続き三井物産が保有している。

(2016 年 12 月 23 日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Volcan 社、Palma 多金属プロジェクトに期待

2016年12月21日付け地元紙によると、Volcan 社（本社リマ）の Ignacio Rosado 社長は、地元メディアのインタビューに答え、Palma 多金属プロジェクト（Lima 州）に期待していると述べた。

同プロジェクトは、首都リマの南東約 60 kmに位置する火山性塊状硫化物鉱床で、第 1 ステージの延べ 17,000m のボーリング調査後、2015 年に実施された第 2 ステージの延べ 7,486m のボーリング調査によって、延長 2.5 km に及ぶ亜鉛・鉛・銀鉱化作用を確認したほか、深部において、着鉱幅 5.1m、Zn 1.18%、Pb 0.26%、Ag 1.17oz/t（約 36g/t）、Cu 1.30% の鉱徴を捕捉し、深部における銅鉱化作用も確認された。同社長はさらに、銅鉱床の開発について、鉱床の規模次第では、JV パートナーを求める可能性があることを付け加えた。

（2016年12月23日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Fission 3.0 社、Macusani ウランプロジェクトでリチウム鉱化も確認

2016年12月21日付け地元紙によると、Fission 3.0 社（本社カナダ）が、Macusani ウランプロジェクト（Puno 州）で、高品位のウランのほか、リチウム鉱化も確認したことを明らかにした。

U₃O₈ 品位 24.48% を示す試料を含む、U₃O₈ 品位 2% 以上の地化学アノマリーを示す延長約 8 km の Los Blancos Llama Sur 鉱床と同 Llama Norte 鉱床において実施されたボーリングにより、最高で、着鉱長 16m、U₃O₈ 品位 1.21% が捕捉されたほか、最高 533ppm のリチウム鉱化作用を確認したという。

（2016年12月23日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：Tinka Resources 社、Pucarumi 地区で高品位亜鉛ゾーン発見

2016年12月21日、Tinka Resources 社（本社バンクーバー）は、100% 権益を保有する Ayawilca 亜鉛・銀・錫・インジウムプロジェクト（Pasco 州）の北西数 km の Pucarumi 地区で、高品位亜鉛ゾーンを発見したと発表した。現在まで同社が行ったマッピングと部分的なサンプリングにより、走向延長 1.5 km 以上にわたり亜鉛の鉱化作用が石灰岩中に確認された。チャンネルサンプリング 61 試料の分析結果から、平均幅 1.5~2.0m、亜鉛品位 0.2~19.0%、鉛品位 0.01~7.9% の鉱化ゾーンであるという。同社ではなお同地区に対する土壌サンプリングを継続中である。

同社は、Ayawilca プロジェクトにおいて、2017 年早期に、計 10,000~15,000m のボーリング調査を実施する計画で、まずは Ayawilca 南部エリアに対するステップアウトボーリングで鉱体の広がりを把握するほか、その他数か所の鉱徴地でもテストボーリングを実施することになっている。同社によると、同プロジェクトの現時点の鉱量は 18.8 百万 t（亜鉛相当品位 8.2%）。

（2016年12月23日 リマ 迫田昌敏）

ペルー：国会が鉱業プロジェクトの支障となっている行政手続きの簡素化を提案

2016年12月22日付け地元紙によると、ペルー国会の「地方分権化・地域化・地方自治体・国家管理の近代化委員会」は、野党 Fuerza Popular の Alejandra Aramayo 議員が提案した「鉱業投資を促進し、官僚裁量を減らす法案」を承認した。

法案は、探鉱、鉱山およびプラント建設や開始、鉱山閉鎖計画の承認などのプロジェクトの立ち上げに必要な行政手続きの数を、関係省庁が削減するとされている。この法案はまた、手続きを処理するための「ワンストップショップ」をエネルギー・鉱山省に一元化すると提案している。さらにこの法案は、財務省が、100 百万 US\$ 以上の投資プロジェクトを監視する特別チームを設置すること

を提案している。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Constancia 銅鉱山、2017年に121百万US\$の開発投資を計画

2016年12月22日付け地元紙によると、Hudbay Minerals社（本社トロント）は、Constancia 銅鉱山（Cusco州）開発のため、2017年に121百万US\$の投資を計画していることを明らかにした。また、2018～2021年の各年には、47～66百万US\$の投資が計画され、2017～2021年の合計投資額は346百万US\$になり、今後5年間の各年の銅生産量は11～13万tが維持される見込み。

2016年11月、今後5年間で54百万US\$（土地取得費用を除く）を投じて開発すると発表した同鉱山のPampacancha 鉱床は、確定鉱石埋蔵量23百万t（平均銅品位0.52%、平均モリブデン品位142g/t、平均金品位0.298g/t、平均銀品位4.28g/t）、推定鉱石埋蔵量20百万t（平均銅品位0.44%、平均モリブデン品位159g/t、平均金品位0.252g/t、平均銀品位3.74g/t）を持つ。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Buenaventura社、Mayra金プロジェクトの探鉱に向けEIA提出

2016年12月22日付け地元紙によると、Buenaventura社（本社リマ）は、Mayra金プロジェクト（Arequipa州）の探鉱に向けEIASd（Semi-Detailed Environmental Impact Assessment）をエネルギー鉱山省に提出した。調査内容は、トレンチ調査、67ヶ所計85孔のボーリング調査及び環境調査からなる。調査期間は、アクセス開始から撤収まで約60ヶ月を見込んでいる。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：Auryn Resources社、2017年にペルー国内で15,000mのボーリング調査を計画

2016年12月22日、Auryn Resources社（本社バンクーバー）は2017年の探査計画を発表し、そのなかで、ペルー国内のSombrero、Huilaollo、Bañosdel del Indioの各プロジェクトにおいて、計15,000mのボーリング調査を実施する計画を明らかにした。

2016年7月、同社が、100%の権益を持つAlturas Minerals社（本社トロント）と、参入のためのオプション契約を締結したSombreroプロジェクト（Ayacucho州）では、これまでトレンチ作業と岩石・土壌地化学探査により、鉱区南西部に300×350m規模のスカルン鉱化帯が確認された。

酸化の著しい浅熱水性エピサーマル金鉱化システムとみられているHuilaolloプロジェクト（Tacna州）では、主に鉱区南半分に対する精密な地化学探査が実施された。Huilaollo 鉱区の北約10kmに位置し、2016年9月に、ペルー地場企業Exploandes S.A.C社から権益100%を得るオプションを獲得したBaños del Indioプロジェクト（Tacna州）では、Huilaollo同様の鉱化作用を期待し、2017年第1四半期に鉱区全体のIP調査とサンプリングを実施したうえ、同年第4四半期にボーリング調査に進む見通し。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ペルー：2016年1～10月の鉱業投資額

2016年12月23日、ペルーエネルギー鉱山省が2016年1～10月の国内鉱業投資額を公表した。

発表によると、前年同期の6,236百万US\$から45.5%減の3,401百万US\$で、2016年通算でも前年の7,525百万US\$のほぼ半分になる見込み。大規模プロジェクトの完了が相次ぎ、同国の鉱業投

資額は、2013年に9,924百万US\$のピークに達して以来、減少の一途をたどっている。

10月単月の投資額は337百万US\$で、2016年内では4番目の数字。内訳は、「鉱山開発工事」約94百万US\$、「鉱山インフラ」約93百万US\$、「その他」約44百万US\$の順。「鉱山開発工事」は2016年1～10月累積額で約768百万US\$となり、縮小する投資額のなかでも、前年同期の約651百万US\$から約18%増となっている。逆に2016年1～10月累積額のなかで前年同期に比べて縮小額が大きいのは「その他」で、前年同期の約3,059百万US\$から、約74%減の約803百万US\$であった。

また、「プラント設備」は、前年同期の約358百万US\$から、約49%減の約183百万US\$、「鉱山設備」は、前年同期の約546百万US\$から、約48%減の約283百万US\$、「探査」は、前年同期の約373百万US\$から、約23%減の約287百万US\$、「インフラ」は、前年同期の約941百万US\$から、約17%減の約782百万US\$となっている。

(2016年12月23日 リマ 迫田昌敏)

ボリビア：Orvana Minerals社、金増産計画

2016年12月13日、Orvana Minerals社（本社トロント）は、決算報告と今後の操業見通しを発表し、ボリビアにおける金生産を増やす計画であることを明らかにした。

同社のDon Mario金鉱山（Santa Cruz県）の2016会計年度（2015年10月～2016年9月）の生産量は21,102oz（約656kg）であったのに対し、設備更新後の2017会計年度（2016年10月～2017年9月）の生産量は35,000～40,000oz（約1.1～1.2t）を見込んでいる。一方、銅と銀は減産し、2016会計年度に、銅10.5百万lb（約4.8千t）と銀381,523oz（約11.9t）だったのに対し、2017会計年度には、銅7～7.5百万lb（約3.2～3.4千t）と銀150千oz（約4.7t）を見込んでいる。

同社は、同鉱山において、1.84g/tの金品位を持つと推定されている約2.2百万tのストックパイル酸化鉱を、CIL回路で再処理する計画で、このため、2017会計年度第2四半期までに、ボリビア国内の匿名の銀行から7.9百万US\$の資金を確保したと述べた。同社のJim Gilbert CEOは、25%以上金回収率を上昇させる、このCIL再処理プロジェクトは、ボリビアにおける収益機会の延命を可能にすると述べた。

(2016年12月16日 リマ 迫田昌敏)

エクアドル：Fruta del Norte金プロジェクト、鉱業契約に係る合意書調印

2016年12月15日付け地元紙各紙によると、Javier Córdova 鉱業大臣とFruta del Norte金プロジェクト（Zamora Chinchipe県）の権益を保有するLundin Gold社（本社バンクーバー）は、12月14日、鉱業契約に係る合意書（Exploitation Agreement）に調印した。

同社プレスリリースによると、合意内容は、現行の法律や規則と、プロジェクト開発のための財政上、業務上、商業上の条件を組み合わせたものになっており、更新可能な25年の鉱業権、政府への総額65百万US\$のロイヤルティ支払い（うち25百万US\$は即日、1年後に20百万US\$、2年後に20百万US\$）、生産からの5%のNSRロイヤルティ支払いなどが取り決められている模様。得られたロイヤルティ収入は、国家の一般会計に組み入れられ、そのうちの60%は、鉱区のあるZamora Chinchipe県の事業に投資されることになっている。

同社のNathan Monash 副社長は、2016年9月までの投資額は32百万US\$、開発投資総額は約800百万US\$（同社のLucas Lundin 会長によれば約1,000百万US\$）と見積もっており、今後開山に向けての事前工事（アクセス道路や工事キャンプ建設）を開始し、2017年7月に本格的な建設開始、

2020年からの金生産を目指す述べた。また、当初2千名の雇用で開山工事を行い、採掘ステージには、約9百名の直接雇用と約7千名の間接雇用になるだろうと説明した。

同社が2014年10月にKinross Gold社から買収した本プロジェクトは、推定埋蔵量23.5百万t、金品位9.59g/t（金量約225t）、坑内掘り、マインライフ13年とされる。

一方、Córdova 鉱業大臣は、同プロジェクトを含む5つの戦略鉱業プロジェクト全体に言及し、2016年9月までの開発総投資額は800百万US\$、2016年だけで187百万US\$であったとし、各プロジェクトは順調に推移し、2017年の総投資額は1,000百万US\$に達するであろうと述べた。

現在エクアドル国会では「extraordinary revenue tax」法案（通称Windfall Tax 法案）が審議中であるが、提案されている法案によると、鉱山企業は、プロジェクトにおいて、プロジェクト開始から生産開始までと、生産開始後、累積投資を回収してから4年後までWindfall Taxは適用されないことになっている。同社のRon Hochstein社長は、「この変更により、Windfall Taxの適用がプロジェクトに重大な影響を与えずに簡素化されると確信している」と述べている。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

エクアドル：Explorcobres社の鉱山キャンプが襲撃される

2016年12月16日付け地元紙によると、中国系鉱山企業Explorcobres社のLa Esperanza銅鉱山（Morona Santiago県）キャンプが、開発反対運動を続けるShuar族とみられる約60人の集団に襲撃され、警察官1名が死亡し、5人が負傷、さらに兵士2人も負傷した。

政府は、12月14日、同県に30日間の非常事態宣言を発令した。別の地元紙によると、中国の国家当局者は、攻撃に対する懸念を表明し、現状を制御するための即時措置を地元自治体に要請した模様。同社は、11月21日にも同様な襲撃を受けていたと述べた。

（2016年12月16日 リマ 迫田昌敏）

エクアドル：Lumina Gold社、Cangrejos金銅プロジェクト付近ほかの有望鉱区確保

2016年12月22日、Lumina Gold社（本社バンクーバー）は、探鉱早期ステージのCangrejos金銅プロジェクト（El Oro県）において、同プロジェクトに囲まれた鉱区を確保したと発表した。

また、あわせて政府の実施した競売プロセスを通じて、Tres Pichachos 鉱区（4,828ha）、La Canela（3,187ha）、Las Orquideas（4,743ha）の鉱業権を付与されたことも明らかにした。前2者は、同社のこれまでの河川堆積物と土壌地化学探査において、空中磁気探査結果と調和的な、大規模な金アノマリーが得られており、後者は岩石と土壌地化学探査において3kmに及ぶ銅・モリブデンアノマリーが把握されている。

（2016年12月23日 リマ 迫田昌敏）

ニカラグア：加Calibre Mining社、Primavera金銅プロジェクトの探鉱結果を発表

2016年12月14日付け業界紙等によると、加Calibre Mining（本社：バンクーバー）は、同社がニカラグアに所有するPrimavera金銅プロジェクトの探鉱結果を明らかにした。

探鉱では、金0.54g/t、銀1.15g/t、銅0.22%が確認され、金属量は金782,000oz、銀1.7百万oz、銅219百万lbと推定される。同プロジェクトは、更に深部に鉱床がある可能性があり、新たなポテンシャルが期待できる。

（2016年12月16日 メキシコ 森元英樹）

メキシコ：2016年10月の鉱業生産統計、前年同月を下回る

2016年12月12日付け業界紙によると、本年10月のメキシコ鉱業生産は、前年同月を下回る結果となる。

メキシコ国家統計地理情報局（INEGI）によると、石油・ガス生産量は、今年3月以降、全て前年同月を下回っており、8月は5.5%減、9月は4.7%減となり、1～10月期の同生産量は、前年同期比1.7%減となっている。金属部門では、貴金属の価格上昇により影響を緩和している傾向があるものの、9月の鉛の生産量は対前年同月比25.1%減、金は同22.4%減となっている。

(2016年12月16日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：加Agnico Eagle Mines社、Chipriotaプロジェクト権益取得

2016年12月14日付け業界紙等によると、加Agnico Eagle Mines社（本社：トロント）は、加Sonoro Metals社（本社：バンクーバー）とのChipriota金プロジェクト（Sonora州）取得交渉の結果、同プロジェクトを4百万C\$で取得することで合意したことを明らかにした。

契約には、Sonoro Metals社が1%のNet Smelter Return（NSR）を得ることが盛り込まれる予定であり、Agnico社には1.5百万C\$での買取権が付与される見込みである。同プロジェクトにはLos Pinos等の幾つかの鉱区が含まれ515haで構成されており、Agnico社が保有するLa India金鉱山に隣接している。なお、Sonoro社長CEOは、同プロジェクト売却で得た資金は、San Marcialプロジェクト（Sonora州）、Hilltopプロジェクト（アラスカ）に充当する旨述べている。

(2016年12月16日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：加Endeavour Silver社、高品位の金・銀鉱脈を発見

2016年12月13日付け業界紙等によると、加Endeavour Silver（本社：バンクーバー）は、El Compás（Zacatecas州）及びTerronera（Jalisco州）貴金属プロジェクトの探鉱において高品位の金、銀鉱脈を捕捉したと発表した。

El Compásプロジェクトは、前鉱業権者により一定の品位が確認されており、El Compás脈とEl Orito脈の2鉱脈が探鉱の対象とされており、同社は、未だ、資源量の確認作業を完結しきれていない。探査結果はCOM108孔において、幅1.81m、平均品位、銀72g/t、金26.5g/tを捕捉した。Terroneraプロジェクトでは、LL-02孔において、幅1.14m、平均品位、銀408g/t、金58.6g/tを捕捉した。

(2016年12月16日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：Scotiabank社、加Goldcorp社とのLos Filos金鉱山、Camino Rojo多金属プロジェクト売却交渉が進展

2016年12月14日付け業界紙等は、加Goldcorp社（本社：バンクーバー）は、同社がメキシコに保有するLos Filos金鉱山とCamino Rojo多金属プロジェクトを総額500百万US\$でScotiabank社に売却すると報じている。

交渉筋によると、Goldcorp社は、同社がZacatecas州に保有するCamino Rojo開発プロジェクト（Peñasquito 鉱山 50 kmに位置しプレFS中）をScotiabank社に売却する交渉を進めており、Scotiabank社とのLos Filos金山（Guerrero州）売却交渉も大詰めにあると言う。また、当地アナリストは、Camino RojoプロジェクトとLos Filos金鉱山の各々の売却額は、前者が200百万US\$、後者が300百万US\$で交渉が進んでいると述べている。

なお、数か月前、Goldcorp 社 CEO は、Los Filos 金鉱山の売却プロセスを開始したことを明らかにしており、同時に、グアテマラ、アルゼンチンの鉱山売却手続についても進めており、このため、これらの鉱山は同社の操業鉱山としてカウントしていない。同売却益は、同社の負債削減と新プロジェクト投資に当てる旨コメントしていた。

(2016 年 12 月 16 日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：Industrias Peñoles 社社長インタビュー、Zacatecas 州鉱業に苦言を呈する

2016 年 12 月 12 日付け業界紙インタビューにおいて、Industrias Peñoles 社社長は、Zacatecas 州の安全対策は鉱業活動に影響を与え続けていると苦言を呈した。同社長は、インタビューで以下のことを述べている。

- ・企業及びその労働者は犯罪行為の犠牲者であり、鉱山企業はメキシコの様々な鉱山で追加投資が必要とされている。当社及び鉱山周辺地域の人々の福祉の保護が重要であり、様々な状況に対応するための監視、保護システムに余分な支出を行わなければならなかった。しかし、未だに多くの対策が必要とされる地域があることを残念に思う。連邦、州、郡の調整が必要であると感じる。
- ・2017 年の金属価格には、米大統領選挙の結果に起因する不確実性が追加される。メキシコ経済は低成長となる可能性もあり、それは鉱業部門のみならず、メキシコの全ての分野に影響を与える。この状況に対処するため、プロセス改善によるコストの削減を模索し、競争力強化を進めなければならない。人員削減が最適な手段ではなく、訓練してきた人材を手放すことはできない。
- ・新たな投資としては、Sabinas 鉱山 (Zacatecas 州)、Tizapa 鉱山 (México 州) 及び Velardeña 鉱山 (Durango 州) がある。また、投資額 400 百万 US\$ の Guerrero 州の新規多金属鉱山の建設工事は 2018 年半ばの完了を見込んでいる。Coahuila 州では、365 百万 US\$ を投資し、亜鉛生産能力 240 千 t/年を 120 千 t/年増加させる亜鉛精錬所拡張事業を進める予定である。

(2016 年 12 月 16 日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：2016 年第 3 四半期、高い金品位を記録した鉱山

2016 年 12 月 12 日付け業界紙は、メキシコで最も高い金品位を記録した鉱山を発表した。なお、加 Agnico Eagle Mines 社及び Minera Frisco 社は、未公表のため含まれていない。

- ・Mercedes 鉱山 (加 Premier Gold Mines 社) : 4.52g/t
同品位は本年 1~9 月期のみで数値である。加 Premier Gold Mines 社は、同鉱山を加 Yamana Gold 社から買収した。なお、本年第 3 四半期のキャッシュコスト (Cash Cost) は 687US\$/oz である。
- ・San Dimas 鉱山 (加 Primero Mining 社) : 3.69g/t
加 Primero Mining 社がメキシコで唯一操業する鉱山で、今期は前年同期比の 4.75g/t から 3.69g/t に低下した。作業一時停止により高品位鉱石鉱物へのアクセス工事が遅延したことが影響している。そのため今期のキャッシュコストは、507US\$/oz から 865US\$/oz へと上昇している。
- ・El Limon-Guajes 鉱山 (加 Torex Gold Resources) : 3.13g/t
本年 3 月に商業生産を開始した鉱山で、本年第 2 四半期の 3.15g/t とほぼ同じ品位を維持しており、今期のキャッシュコストは 517US\$/oz である。
- ・La Cienega 鉱山 (Fresnillo 社) : 1.94g/t
今期の金品位は、前年同期の 1.85g/t から上昇、なお、埋蔵量の平均金品位は 1.86g/t である。
- ・El Aguila 鉱山 (米 Gold Resources 社) : 1.86g/t

前年同期の 2.25g/t から 1.86g/t に低下した。今期のキャッシュコストは 623US\$/oz とメキシコ金生産コストでは低い鉱山に位置する。

- El Gallo 鉱山 (加 McEwen Mining 社) : 1.40g/t

前年同期の 2.30g/t から 1.40g/t に低下した。そのため、キャッシュコストは 454US\$/oz から 598US\$/oz へと上昇した。

- Mulatos 鉱山 (加 Alamos Gold 社) : 1.03g/t

2017 年は、La Yaqui 鉱体の開発によりキャッシュコストが低下する見込みである。今期のキャッシュコストは生産コストの高い鉱山の一つとして数えられ、888US\$/oz である。

なお、加 Argonaut Gold 社が保有する El Castillo 鉱山及び La Colorada 鉱山は、今期最低金品位を各々同 0.33g/t 及び 0.52g/t と報告している。

(2016 年 12 月 16 日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：加 Blackrock Gold 社、Portrero 金・銀プロジェクト権益を 80%に上昇させる

2016 年 12 月 17 日付け業界紙によると、加 Blackrock Gold 社は、初期探鉱段階にある Portrero 金・銀プロジェクト (Durango 州) 権益を 80%にまで上昇させるため、Grupo Jomargo 社と行っていた協議が合意に達した旨を明らかにした。現在、Blackrock Gold 社は、同プロジェクトのサンプリング調査を進めている。同サンプルの分析結果では、今後、探鉱を更に進めるための結果は得られていない。

(2016 年 12 月 20 日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：環境天然資源省 (SEMARNAT)、米 Argonaut Gold 社 San Antonio 金プロジェクトの環境影響評価書を承認せず

2016 年 12 月 17 日付け業界紙等は、環境天然資源省 (SEMARNAT) が米 Argonaut Gold 社 San Antonio 金プロジェクト (Baja California Sur 州) の環境影響評価書を承認しなかつた旨報じている。

連邦裁判所は同社の影響評価書に対し有利な裁定を下していたものの、SEMARNAT は、同社に対し、表面化していない危険性の説明と影響確認、建設工事、操業計画、閉山計画、帯水層への影響を追加情報として求めている。なお、同社は、この要求に早急に対応できる能力を有しており、関係機関と協議を続け、情報を整理し、代替案を提示したいとしている。

(2016 年 12 月 20 日 メキシコ 森元英樹)

メキシコ：経済省・鉱山次官ポストが新設される

2016 年 12 月 19 日付け官報等によると、Enrique Peña Nieto 大統領は、連邦行政組織法 (Ley Organica de la Administración Pública Federal) 等に従って、経済省に鉱山次官のポストを設置する大統領令を公布した。

当該ポストは、鉱山活動の監督・調整を司る部門となり、その権限は、鉱業法、炭化水素法、電気産業法 (Ley de la Industria Eléctrica) によって行使され、探鉱・生産促進、鉱業関連の学術・企業支援に係る国内・国際フォーラム・イベント活動、等が含まれる。なお、地元紙によると、当該ポスト設置による経済省予算の増額は行われない。

(2016 年 12 月 20 日 メキシコ 森元英樹)

ドミニカ共和国：加 Precipitate Gold 社、Juan de Herrera 金プロジェクト権益取得

2016年12月14日付け業界紙等によると、加 Precipitate Gold 社（本社：バンクーバー）は、0945044 BC 社からドミニカ共和国の Juan de Herrera 金プロジェクトの権益 100% を 75,000C\$ と普通株式 1 百万株の譲渡で取得したことを明らかにした。なお、契約書には 0945044 BC 社が 3% の net smelter royalty (NSR) を得ることが盛り込まれる予定である。

(2016年12月16日 メキシコ 森元英樹)

米：Vale、肥料部門を米 Mosaic 社に売却、同社の最大株主に

2016年12月19日、米の肥料メーカー大手 The Mosaic Company 社は、Vale の肥料事業部門を総額 2.5bUS\$ で購入することを発表した。取引金額の半分に当たる 1.25bUS\$ は現金にて支払われ、もう半分は株式譲渡（4,230 万株相当）によって支払われる。この取引により、Vale は Mosaic 社の株式の約 11% を占有することとなり、同社の最大株主となる。

Mosaic 社は新たにリン酸塩 4.8mt 及びカリウム 500kt の生産能力を得る。また、ペルーの Miski Mayo リン鉱山の 40% の権益、加 SK 州の Kronau カリウムプロジェクトの全権益を得ることとなる。Mosaic 社はオプションでアルゼンチンの Rio Colorado カリウムプロジェクトを取引に含めることができる。Vale の Cubatao での窒素事業及びリン酸塩事業は含まれない。この取引により、Mosaic 社の従業員数は従来の約 17,000 人から 8,000 人増加する。

北米の肥料メーカーに関しては、PotashCorp 社と Agrium 社も 2016 年秋に合併を発表しており、業界再編の流れが加速している。

(2016年12月21日 バンクーバー 杉崎真幸)

加：Integra Gold 社、金探鉱プロジェクト等に 7mC\$ の資金調達

2016年12月13日、加 Integra Gold Corp. 社は、フロースルー株式の発行により 7mC\$ の資金調達を実施することを発表した。

資金調達は私募により実施される。調達資金は同社が探鉱を実施している QC 州 Laumaque 金プロジェクトの探鉱費等に充てられる。同プロジェクトは複数の鉱体からなる金鉱床であり、2015 年に実施された予察的経済評価 (PEA) の結果によれば精測資源量として 5.42mt、金 6.78g/t の資源量が確認されている。

(2016年12月16日 バンクーバー 杉崎真幸)

加：加連邦政府、アスベストを全面禁止へ

2016年12月15日、加連邦政府は 2018 年から国内でのアスベストの生産、使用及び輸出入を全面的に禁止することを発表した。

カナダは先進国としては例外的に、アスベストの健康被害が表面化した 1970 年代以降も、主に発展途上国への輸出用として近年までアスベストの生産を続けていたが、2011 年に国内のすべての鉱山が閉山した。今後は連邦環境保護法の改正により流通を規制するとともに、政府の所有するアスベストを含む建造物のリスト化、業務上アスベストと接触するリスクのある職種のガイドライン整備、啓蒙活動などを実施する。

(2016年12月16日 バンクーバー 杉崎真幸)

加：Richmont Mines 社、Island 金鉱山の増産に関する環境認可を取得

2016年12月19日、加Richmont Mines Inc. 社は、同社が操業する ON 州南部の Island 金鉱山に関して、増産を行うための環境認可の取得が完了したことを発表した。

同社は 2016 年 1 月に PEA を更新しており、新規設備投資により従来の生産量 900t/day を 1,100t/day に増強する計画を立てている。Island 金鉱山に関しては、近年の探鉱により既知鉱体の深部に高品位の鉱化帯が発見され、鉱量が以前の見積もりの 3 倍以上に増加していた。

(2016年12月21日 バンクーバー 杉崎真幸)

英：LME、2017 年の新料金体系を発表

LME は、2016年12月15日付けプレスリリースにて 2017 年の料金体系を発表した。

発表によると、2016年4月4日よりオンラインデータ使用ライセンス (Usage Licence) の手数料を実需家に対し課していたが、実需家は LME で直接価格ヘッジを行わなくてもサプライチェーン及び下流取引において取引価格を利用することで実質的に LME 価格形成に寄与していると今回撤廃する。

また、今回の発表では LME クリアの手数料も引き下げられ、LME クリアの担保としてのワラント手数料を半分に、コンプレッションサービス手数料を 3 分の 1 に引き下げることが発表された。この新料金体系は、2017年1月1日から適用される。

(2016年12月19日 ロンドン ザボロフスキ真幸)

南ア：Sibanye Gold 社、米 Stillwater Mining 社を買収することで合意

Sibanye Gold 社は、2016年12月9日付けプレスリリースにて米白金生産者である Stillwater Mining 社を 22 億 US\$ で買収することを発表した。取引日前日の株価終値の売買高加重平均価格に 20% 上乗せした買収提示額だという。Stillwater Mining 社は、Stillwater 鉱山、East Boulder 鉱山といった 2 つの PGM 坑内鉱山を所有する。

メディア報道によると、同買収により Sibanye Gold は世界第 3 番目の白金・パラジウム生産者及び世界第 4 番目の 4E PGM 生産者になるという。買収完了は 2017 年第 2 四半期を目指している。

(2016年12月19日 ロンドン ザボロフスキ真幸)

DR コンゴ：政府、洛陽モリブデン業による Tenke Fungurume 銅鉱山の 26.5 億 US\$ 買収案を承認

メディア報道によると、コンゴ政府の監督管理部門は、洛陽栾川モリブデン業集団株式会社による Tenke Fungurume 銅鉱山の 26.5 億 US\$ での買収案を認可した。

新しい決定に基づき、Tenke Fungurume の経営層は株主の利益に沿った方式で当該銅鉱山を経営する。

(2016年12月23日 北京 森永正裕)

豪：資源産業における求人数、資源価格の回復により半年で 20% 増加

2016年12月13日付けの地元紙は、資源産業における求人数が過去 6 カ月で 20% 増加したと報じている。これは DFP Recruitment Services 社の調査によるもの。2016年11月は 1.5% の増加であった。DFP 社によれば、QLD 州では石炭価格の上昇により過去 6 カ月で求人が 23% 増加しており、WA 州でも同時期に 18% 増加している。

同紙によれば、これらの数値は資源産業が底を打って回復していることをさらに裏付けるものであ

る。2016年12月1日発表の豪州統計局（ABS）の統計では2016年9月期（2016年7～9月）の鉱業部門の資本支出は12期連続で減少したものの、同じくABSが同年12月5日に発表した統計によれば、民間企業による鉱物資源の探鉱に対する支出額は過去6カ月で30%増加している。さらに新規の鉄鉱石鉱山の開発の動きがあること、また豪州証券取引所（ASX）の2016年における株価は、株価指数（ASX200）が5.2%の上昇であるのに対し、資源企業の株価は43.9%も上昇して盛り返している。

DFP社は、資源産業の雇用は資源価格の回復の速度に遅れる形で拡大することから、今後数カ月は求人が増加していくと見ている。しかし、大きな不確定要因は資源価格の持続性であり、経済面の懸念が生じれば雇用を控えることになるだろうとの見解も示している。

（2016年12月16日 シドニー 山下宜範）

豪：ジュニア探鉱企業、資源価格の回復で探鉱への支出を増加

2016年12月11日、BDO社は、2016年9月期（2016年7～9月）におけるジュニア探鉱企業の活動の調査結果を発表した。

これによると、2016年9月期において、豪州証券取引所（ASX）に上場している探鉱企業の本数は、前期から15社減少して698社となった。これについてBDO社は、過去の資源価格の下落が影響したこと、また、技術系の新興企業が活動休止中の探鉱企業を通じて上場を果たす行為（裏口上場）が行われたこと等を要因に挙げている。

他方、各社の探鉱への支出額の平均は、前期の418,000A\$から増加して451,000A\$となった。探鉱への支出額は9期連続で減少していたものの直近では2期連続で増加したことになる。2014年3月期は110万A\$であったことから、これと比べるとまだ半分に過ぎないが、BDO社によれば、最近の探鉱支出額の増加は、2016年に入ってからの資源価格の回復を受けて市場の感情が前向きになり、探鉱企業に資金が流れ込んでいることを強く示すものである。

なお、今回の調査結果について地元紙は、探鉱企業が最も多く探し求めている鉱種は金であるとし、一方、米国のトランプ氏の大統領選の勝利や今後の米国の利上げの予想を受けて、現在は金の価格が下落していることから、2016年12月期以降の調査結果では、市場のコンフィデンスがどの程度なのか検証されることになるだろうと報じている。

（2016年12月16日 シドニー 山下宜範）

豪：OZ Minerals社、SA州Carrapateena銅金鉱床の資源量が増加

2016年12月9日、OZ Minerals社は、権益100%を保有しているSA州Carrapateena銅・金鉱床で実施した合計6,616mのボーリング調査により、資源量が1億3,400万t（銅1.5%、金0.6g/t、銀6.5g/t）に増加し、さらに確定資源量が6,100万t（銅1.4%、金0.6g/t、銀6.3g/t）となったことを発表した。今回得られた資源量は現在実施中のバンカブルFS（BFS）に使用される。同社はBFSを2017年1～3月期に完成させ、2019年から精鉱の生産を開始する計画である。

同社は同鉱床から400万t/yの鉱石を坑内採掘し、銅61,000t/y、金63,000oz/y（約2.0t/y）を生産する。また、マインライフは20年以上と発表している。

（2016年12月19日 シドニー 矢島太郎）

豪：Independence Group社、WA州Novaニッケル・銅・コバルト鉱山のニッケル精鉱を初出荷

2016年12月12日、Independence Group社（Independence社）は権益100%を保有しているWA

州 Nova ニッケル・銅・コバルト鉱山のニッケル精鉱を初出荷したことを発表した。精鉱は BHP Billiton (BHPB) が WA 州 Kambalda で操業する Nickel West の製錬施設へ輸送される。Independence 社はニッケル精鉱に関する 3 年間のオフテイク契約を BHPB 及び Glencore とそれぞれ締結しており、さらに銅精鉱に関する 3 年間のオフテイク契約を Trafigura 社と締結している。同鉱山はニッケル 26,000t/y、銅 11,500t/y、コバルト 850t/y を 10 年間のマインライフで生産する計画である。

資源アナリストは 2016 年 12 月以降、ニッケル価格が 11,000US\$/t を超え、今後も価格の上昇は続く予想している。ニッケル価格は 2016 年 1 月から 30%以上値上がりしている。地元各紙は、2012 年 7 月に発見された Nova 鉱床が 4 年間で鉱山開発され、ニッケル価格の回復期に精鉱の出荷を開始できるのは幸運に恵まれていると報じている。

(2016 年 12 月 19 日 シドニー 矢島太郎)

豪 : Pilbara Minerals 社、Pilgangoora 先住民と土地利用に関する契約を締結

2016 年 12 月 13 日、Pilbara Minerals 社は、WA 州 Pilgangoora リチウム-タンタル鉱床の胚胎エリアに居住する先住民 Njamał 族と土地利用に関する契約を締結したことを発表した。同社の Ken Brinsden CEO は「採掘権が認可されるための必要条件である先住民土地利用契約を締結したことにより、Pilgangoora リチウム-タンタル鉱床の採掘権取得に大きく前進した。採掘権の認可は 2017 年第 1 四半期を見込んでいる」とコメントしている。

同社は鉱石生産を 2017 年 7 月から開始する計画であり、リチウム精鉱 (Li₂O 品位 6%) 31.4 万 t/y、タンタル 32.1 万 lb/y をそれぞれ生産する予定である。

(2016 年 12 月 19 日 シドニー 矢島太郎)

豪 : Galaxy Resources 社、Mt Cattlin 鉱山リチウム精鉱の 2017 年販売価格について合意

2016 年 12 月 14 日、Galaxy Resources 社 (Galaxy 社) は、権益 100%を保有している WA 州 Mt Cattlin リチウム-タンタル鉱山のリチウム精鉱の 2017 年販売価格についてオフテイク先企業と合意したことを発表した。Galaxy 社は同鉱山からのリチウム精鉱を品位に応じて 830~905US\$/t (5.5~6.0%Li₂O) の価格で販売する。Galaxy 社は同鉱山のリチウム精鉱 12 万 t を複数の中国企業に対して販売する。同鉱山は 2017 年に最大生産能力の 50%で 16 万 t のリチウム精鉱を生産する予定であり、今後徐々に生産量を増加していく計画である。

同鉱山は 2016 年 3 月 31 日からリチウム-タンタル鉱石の採掘を再開し、11 月中旬から精鉱の製造を開始し、12 月 5 日から WA 州 Esperance 港へリチウム精鉱のトラック輸送を開始している。

(2016 年 12 月 19 日 シドニー 矢島太郎)

豪 : 中鋼国際、豪・Northern Minerals 社と重希土中間実験工場建設工場の請負契約を締結

現地報道によれば、中鋼国際工程技術株式会社 (以下会社と略称) 傘下の全額出資子会社である中鋼設備有限公司は、豪州上場 Northern Minerals Limited 社と 2017 年に建設開始予定の重希土中間実験工場 (処理能力 6 万 t/年) 総合請負協力事業に関する覚書を締結した。

これまで、中鋼設備有限公司は Northern Minerals Limited 社と重希土選鉱中間実験工場の建設に関する総合請負契約を締結し、契約額は 4,805 万 A\$ (約 2.46 億人民元に相当する) である。契約内容は、レアアース選鉱工場、湿式製錬工場及び他の採掘と非プロセス設備等の設計、工事の実施、設備材料の調達提供、設備と構造の取り付けとテスト調整等である。

(2016年12月21日 北京 森永正裕)

インドネシア：政府、低品位ニッケル鉱石の購入義務化を計画

2016年12月17日付地元メディアによると、エネルギー鉱物資源省（MEMR）は、低品位ニッケル鉱石（ニッケル品位1.7%）を消費するため、国内ニッケル製錬所に対して低品位ニッケル鉱石を購入することを強制する規則を計画しているという。

PT Indoferro 開発部長 Jonatan Handojo 氏によると、この計画は2016年12月14日に開催された政府と精製錬業協会（AP3I）との会合で明かされたものであり、MEMR 大臣規則 2015 年第 8 号の修正として発行される予定であるという。同氏はまた、低品位ニッケル鉱石の引き受けは高炉では問題ないと述べた。

MEMR 鉱物炭総局長 Bambang Gatot Ariyono 氏は新しい方針については認めたが、規則が検討段階であることを理由に、詳細について述べることを拒否した。

(2016年12月19日 ジャカルタ 山本耕次)

インドネシア：政府、ニッケル鉱石及びボーキサイト輸出再開の政令を準備か

2016年12月19日付地元メディアによると、インドネシア政府は鉱石輸出禁止規則の改定に際し、銅精鉱だけではなく、ニッケル鉱石及びボーキサイトの輸出も認める改正案を準備しているという。一方、同改正案では、未加工の金銀鉱石、クロム鉱石は依然として輸出禁止のリストに入っているとのこと。エネルギー鉱物資源省関係者からのコメントは得られなかったが、広報担当者によると、輸出禁止緩和に関して経済調整庁と同意に至ったという。

2016年10月に、エネルギー鉱物資源大臣代行であった Luhut Pandjaitan 氏はインドネシアがニッケル鉱石とボーキサイトの輸出禁止を継続する立場に変わりはないと述べていたが、現行の鉱業法が改正されるまで輸出規則の修正の余地はあると発言している。

複数の鉱山会社は、鉱石輸出の再開が金属価格の下落を生じ、製錬プラントへの投資を損なうことになるだろうと述べている。一方、国営鉱山公社 PT Aneka Tambang は、製錬プラントへの投資 500mUS\$捻出のため、ニッケル鉱石輸出の再開についてロビー活動を行っている。

(2016年12月20日 ジャカルタ 山本耕次)

タイ：Chatree 金鉱山が 2016 年 12 月末で閉鎖予定

2016年12月22日付地元メディアによると、豪鉱山会社 Kingsgate Consolidated 社は、2016年12月31日に同鉱山がタイ国内で操業している Chatree 金鉱山を一時閉鎖する予定。同社は、2016年5月にタイ政府が同国内の金鉱山を閉鎖するという決定をしたことに対して、再三にわたり異議を唱え続けてきた。Chatree 鉱山は 2001 年に操業を開始した金鉱山で、12 月末に閉山・メンテナンス状態に入ることにより、およそ 1,000 人が失職する。

一方、Kingsgate 社経営陣は、新鉱業大臣の就任及び新法の施行により、2017 年内での鉱山再開の望みを抱いている。プラユット首相はタイの経済成長加速のため内閣改造を先週発表し、鉱業を管轄する工業大臣には Uttama Savanayana 氏が就任した。同氏は、マサチューセッツ州立大学アマースト校で経営管理学の博士号を取得している。Kingsgate 社 Ross Smyth-Kirk 会長は、Savanayana 大臣の鉱業活動への理解に期待しているという。

また、2016年12月8日に鉱業法改正案が国家立法議会の承認を得たことにより、Chatree 鉱山

の再開が後押しされると期待しているが、Kingsgate 社最高経営責任者 Greg Foulis 氏は、同法が 2016 年 12 月 31 日までに発効されることはないであろうと見ている。

(2016 年 12 月 22 日 ジャカルタ 山本耕次)

マレーシア：ボーキサイト採掘モラトリアムをさらに 3 か月延長

2016 年 12 月 22 日付地元メディアによると、マレーシア政府は、現在実施しているボーキサイト採掘のモラトリアムをさらに 3 か月延長する。モラトリアムは 2016 年 1 月から開始され延長されており、今回で 3 度目となる。

マレーシアでは、中国のアルミニウム需要増によりボーキサイトの不法採掘が頻発しており、この結果、河川水の汚染と環境破壊が問題となっている。

(2016 年 12 月 22 日 ジャカルタ 山本耕次)

中国：レアアースの国家備蓄実施により業界内の供給過剰問題を緩和か

安泰科によれば、レアアースの国家備蓄入札募集会議が 12 月 13 日に北京で開かれた。酸化プラセオジウム、酸化ネオジウム、酸化ジスプロシウム等商品が落札された。合計 1,400t 余りが取引された。そのうち酸化プラセオジウム・ネオジウム及び酸化テルビウムに関する入札は中止となった。酸化プラセオジウム・ネオジウムは入札募集数が最も多い製品であり、今回の入札中止によって国家備蓄の予定数量は目標値を遥かに下回ることになる。情報によると、今回入札取引が成功した製品の価格は現在の市場価格にかなり近い。

市場で公表された価格によると、11 月 28 日から 12 月 13 日まで、酸化プラセオジウムの価格は 2.5% 上昇、酸化ネオジウム価格は 6.4% 上昇、酸化テルビウム価格は 4.5% 上昇した。現在、プラセオジウム・ネオジウム製品の価格上昇は若干緩めであり、ジスプロシウムやテルビウム等製品価格は下落する傾向である。

レアアース違法行為取締り特別行動の推進に伴い、業界内の関係者は来年のレアアース価格の動きに期待している。

(2016 年 12 月 14 日 北京 森永正裕)

中国：廈門タングステン業、日本アライドマテリアル社が保有する成都聯虹モリブデン業の権益 21%を買収

安泰科によれば、廈門タングステン業会社は、日本アライドマテリアル社が保有する成都聯虹モリブデン業の株式権益 21%の買収に 1,489.66 万元を投入する予定。同時に、持株子会社である成都虹波は保有する成都聯虹モリブデン業有限公司の 49%の株式権益を買収する予定である。買収後、廈門タングステン業は、成都聯虹モリブデン業の 70%の株式権益を保有し、アライドマテリアル社は 30%の株式権益を保有することになる。

(2016 年 12 月 14 日 北京 森永正裕)

中国：中国政府は、鉄鋼、電解アルミニウム等生産過剰産業による新規増加生産能力への登録を禁止

現地報道によれば、中国国務院は、2016 年 12 月 20 日「政府承認の投資項目目録 (2016)」に関する通達を行った。

同通達によれば、鉄鋼、電解アルミニウム、セメント、板ガラス、船舶等生産能力が過剰深刻化している業界のプロジェクトに対し、各地方や各部門は、如何なる名義や方法でも生産能力の新規拡大プロジェクトに対する登録をしてはならない。各関連部門及び機構は、土地の供給（海域、無住民島を含む）エネルギー評価、環境評価審査認可及び新規拡大プロジェクトの与信支援等関連手続きをしてはならない。生産能力過剰問題の解消をともに推し進める。

（2016年12月21日 北京 森永正裕）

中国：江西銅業、鵬欣資源と戦略的協力協定を締結

安泰科によれば、上海鵬欣資源株式会社は、海外の非鉄金属資源保有量を拡大し、海外銅資源事業の成長を推し進めるため、江西銅業集団と強者連合を実現し、戦略的協力協定を締結した。両社はともに海外の優良な非鉄金属資産に対する投資を行い、買収統合や開発を実施し、いくつかの非鉄金属分野で長期的な協力関係を築く。

契約に基づき、両社は戦略的協力関係を築くことによって、資産の運営、金融取引、融資投資、国際的管理等分野における役割をそれぞれ果たし、投資共同体を設立し、共に海外資源に対する投資、開発、経営と貿易の分野で協力を実施する。

鵬欣グローバル資源株式会社は海外非鉄金属資源（銅）に対する採掘、製錬及び販売事業を展開している上場企業である。

（2016年12月21日 北京 森永正裕）

中国：金冠銅業、2017年2月末より45日間の設備点検作業を開始

安泰科によれば、銅陵有色金属集団持株有限公司傘下の金冠銅業分公司は2017年2月末に45日間をかけて設備及び吹込製錬炉の検査を実施する。フラッシュ製錬炉の炉体の安全性及びプロセス技術レベルを引き上げ、生産プロセスの更なる改善を図る。

金冠銅業分公司の設備大検査は2015年10月に行ったが、1年ほどの操業運転のうちに徐々に劣化してきた。金冠銅業は今回の設備点検に1.12億元を投入する予定。

（2016年12月23日 北京 森永正裕）

おことわり：本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。
